

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 5年 3月 10日

事業所名 ナチュラルこどもハウス鶴見区店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3		2	利用人数や活動内容により、狭さを感じることがありますが、物品の配置などを考えながら、広く使用できるよう改善案を出し合い安全に活動できるように工夫しています。
	2	職員の配置数は適切である	2		3	一時的に少なくなっているが送迎等も考え、今後も専門職・経験者とドライバー専属の配置も検討していきます。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3		2	・玄関から室内への入り口の階段が不便でバリアフリーとは言い難いが、情報伝達がしやすいよう配慮はしっかり行っています。 ・スケジュールボード、写真カードなど視覚的にわかりやすいように環境整備を行っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5			・四季を感じる壁面等子どもたちが見て感じられるよう工夫しています。 ・常に清掃・消毒と室内設備の配置見直し等環境整備を行っています。また、児童が使用する玩具等は適宜交換や新しく選定したり、設備の点検、危険な箇所がないか職員が確認を行っています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5			業務改善のための振り返りや反省等を全員で常々行うよう心掛けています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		1	定期的を実施し、保護者様の意見を職員間で共有し業務改善につなげています。 評価にあるご意見やご要望などについては、今後どのように改善していくか迅速に職員間で話し合い、内容を共有し取り組めるようにしていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4		1	毎年SNSやHPで公開しています。 全員の保護者様へ周知はされていないようなので公表時はアナウンスの方法も再度検討していきます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4		外部評価は、方法等含め検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4		1	・研修や学びの機会を与えて頂いている。 ・研修の機会は少なく感じる。 ・外部研修は、機会があればできる限り参加していたが社内研修含め、コロナの為中止となったり、例年より内容が変わったため、今後事業所内での研修の機会と外部研修の時間を確保し、事業所内勉強会を行い、資質の向上に努めていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5			・コミュニケーションを大切にしています。 ・普段から情報(児童・保護者)共有していることもあり、適切に行えています。 ・見学・体験時また定期的に保護者様にアセスメントシートに基づいて聞き取りをさせていただき、支援計画を作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			資料を参考に事業所で作成したアセスメント様式を活用しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		1	児童に必要な一人ひとりの課題に応じた支援項目を選択し、具体的に支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			個別支援計画に沿った支援を心掛けています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5			毎日の活動内容や行事については、児童の支援目標に合わせた内容を職員間で担当を決めて全員が考案し提供しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5			その日の児童に応じて担当職員が多様なプログラムを掲示し、必要時以外は集団活動や個々の課題を考え月の中で同じ活動がないように実施しています。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5			個々の成長に応じ、・集団活動での目的とその中での個別での課題や支援の方法等組み合わせながら考慮し作成しています。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		5		療育開始前後に職員間でミーティングを行い、その日の活動や職員の動き、個々の状態に合わせた支援内容を考え役割分担の確認とその振り返りをしています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		3	2	・行事に対しての反省や振り返りはあるが、日々になると難しい ・不定期で行うことはある
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている		4	1	・取れる時と取れない時がある。 ・日々の振り返りは記入し、職員間で情報共有できています。 ・連絡帳への記載、業務日誌に記録をつけて支援の振り返りや改善につなげています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している		5		モニタリング期間内に評価・見直しを行っています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している		4	1	主に児童発達支援管理責任者・責任者が出席しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		3	2	・今年度は特に行っていない。今後も必要に応じて関係機関からの問い合わせなど情報共有し関係機関との連携に努めてまいります。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				対象の児童はいません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	1	・園や学校により違いがある。 ・相談支援員や保護者様の要望に応じて可能な限り支援内容を開示し共有理解を図っています。 ・個別対応で情報共有は積極的に行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3	2	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		2	3	特に今はないと思う。研修は積極的に参加し助言していただける機会を確保しより良い支援につなげていきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			5	現状ありませんが、保護者様のご意向を踏まえて交流の機会があれば増やしていきたいと思えます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		2	3	参加できていないと思う。各区の主催している連絡会ではできる限り参加していきます。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		5		連絡帳や送迎時(週末の電話連絡)に療育の内容やその日のお子様の様子を伝え、必要に応じて保護者様からの相談をお聞きしたり、事業所での様子や課題についてお話しする場を設けています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		4	1	・必要性を感じる。特にプログラムはない。 ・全児童を対象には実施に至っていないが、優先的に必要な方はお悩みに寄り添う支援ができるよう努めています。
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		4	1	見学時・契約時に口頭と書面で説明を行っています。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		5		コミュニケーションを大切に取り組んでいます。支援計画は保護者に確認して頂き同意を得ています。(定期的にモニタリングを実施し支援内容の説明をしています)	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			定期的ではないが常時、保護者様からの相談を受け付けて丁寧に対応するように努めています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3		今年度は2月に開催しました。ご意向を確認し、今後保護者様が連携や、意見交換ができる機会を提供していきたいと思えます。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5			相談、申入れがあった際は責任者、担当者が面談を行い相談内容に応じて早い回答、適切に対応できるように努めています。毎日共有は行っています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			SNSや毎月、活動の様子としてお写真を添えて個別に発行し行事予定などお便りを通して発信しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			スタッフにその都度、取り扱いについて気をつけるように周知し適切に厳重に管理しています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5			・児童には写真や絵カードを使って持ち物整理や活動など視覚的な支援の活用に配慮しています。 ・保護者様へ連絡帳や電話、必要に応じて面談を通して伝達したり、コミュニケーション方法を探り、情報を伝達しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		今後検討し地域とのつながりを作っていくしたいと思います。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	1		各種マニュアルの策定しました。職員全員でマニュアルに沿ったシミュレーション・訓練を行っています。全てのマニュアルについて保護者様への周知はできていないため今後対応していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			児童含め月1回避難訓練を実施しています。定期的に非常避難用の道具や、備蓄品の確認を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5			服薬が必要な際はお薬札を提出して頂き必要に応じて聞き取りを行っています。契約の際にも確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	2		アレルギーがある場合は保護者様から詳細を確認しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			日々の振り返りで報告し合い、情報共有を行って対策や改善を行っています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	2		関連する資料の読み合わせや外部での虐待研修に参加し、社内研修で全職員の共通意識に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2		職員間や家庭との話し合いを大切にしています。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。